

なのみ通信



東小田小学校 学校通信

平成29年8月4日

NO 11

文責 校長 宮崎春美

◇8月4日 全校出校日

以下は、平和集会の中で、子どもたちに話した内容です

みなさん おはようございます。

今から72年前の8月6日に広島に、8月9日に長崎に原子爆弾が落とされてから、毎年、8月6日を全校出校日とし、原子爆弾の恐ろしさや戦争の悲しさ、そして、命や平和の大切さについて学ぶようになりました。今日は8月4日ですが、それぞれの教室で、このことについてみんなで学び、考えたことと思います。

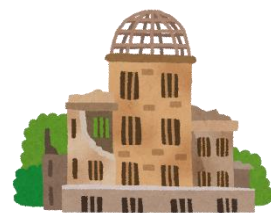
さて、今、皆さんは「平和」についてどんなことを思っているでしょうか？

平和とは戦争をしないこと、おなかがすいたらご飯が食べられること、友だちと一緒に勉強が出来ること、悪いことをしてしまった時には「ごめんなさい」って謝れること、今日も1日楽しかったねと言えること、そして、私もあなたも生まれてきて良かったねと思えること…皆さんは平和に暮らしていますか？

日本は戦争が終わった72年前から、みんなで平和な日本をつくろうと頑張ってきました。1学期の終業式で「楽しい東小田小学校、素敵なお小田小学校は誰かがつくってくれるものではありません。なのみっ子自らの手でつくるのです。」ということ話をしました。それと同じように、平和は、誰かが与えてくれるものではありません。みんなで作りあげていくものです。だから、今日学んだことを忘れず、これからもっともっと平和な日本、平和な世界をつくる人になっていってください。

さあ、では、今みなさんが考えなければならないことは何でしょうか？みなさんの周りにひとりぼっちになっているお友だちはいませんか？困っているお友だちはいませんか？みなさんにできることは、まずは友だちを大事にすること。自分たちの学級が平和で、みんなが安心して過ごせる学級にすること。私たちには、それを振り返るための大切なことばがありますよね。それは「なのみ」「なかよく のびのび みんなで」頑張れているか、教室に戻って、担任の先生ともう一度考えて下さい。

最後になりましたが、平和集会で、6年生が1学期の総合的な学習の時間に学んだことを「子を思う親の思い～大刀洗空襲から学んだこと～」と題して、もっともっと生きたかった子どもの思いや、子を亡くした親の思いを読み聞かせにして伝えてくれました。素晴らしい学びの場を提供してくれたことに感謝です。



◇夏休みが3分の1ほど終わりました

長い夏休みも今日で15日が終わります。残りが27日になりました。

「充実した夏休みにしよう！」子どもたちは、夏休みにしか出来ないことにたくさんチャレンジしていますか？家の手伝いは出来ていますか？プールで泳力を伸ばしていますか？宿題は計画的に進んでいますか？

「まだまだ休みは長いし…」と思って油断していると、やらなければならないことができないまま、気づいたら2学期の始業式…。ちょっと中だるみしてくる頃です。

もう一度、東小田小学校の生活の決まりが守れているか、親子で生活面・学習面・安全面を振り返り、充実した夏休みを過ごせるようにご指導をお願いします。

